

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 25年 7月 25 日			
所属学部・研究科	総合科学部 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	リーズメトロポリタン大学 (国名: イギリス)			
所属学部・学科等名	総合科学部 総合科学科			
在籍身分	Exchange			
留学期間	平成 24年 8月 8日 ~ 平成 25年 6月 1日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: Tire 4 student VISA			
	ビザ申請先: 大阪ビザ申請センター			
	取得方法, 提出書類: UK Border Agency のサイトで必要事項を記入し, 申請センターへ行く日時を予約。語学試験の証明書、留学先からの CAS statement, サイトで入力したページをコピーしたもの、パスポートを提出し、3日後にビザの許可があり、一週間程度で自宅にビザが届いた。			
	手続きに要した日数: 一か月程度			
その他必要な事前手続き	寮の申し込み			
出国年月日	平成 24年 8月 8日			
経路	大阪 (関空) ~ 韓国 (インチョン空港) ~ ロンドン			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	授業が始まる前の週に、2時間程度、授業の履修方法などについて説明があった。留学生を対象に日帰り旅行や、ゲームなども何回かあった。			
帰国年月日	平成 25年 6月 1日			
経路	ロンドン~韓国 (インチョン空港) ~大阪 (関空)			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	140万	円	
	内訳	渡航費	20万	円
		保険料	15万	円
		教科書代(学費)	2万	円
		宿舍費	45万	円
		食費	28万	円
		その他 (旅 費)	10万	円
(服、雑貨 など)	10万	円		
(交通 費)	4万	円		
3. 授業について				
2012年 秋 学期	9月 3日 ~	12月 21日		

2013年 春 学期	2月 1日 ~	5月 21日
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日

授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	交換留学生として、学部制限はなく、1セメスターに4つの授業を受講する。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	日本から交換留学生として授業を受けている学生はほほいないので、先生に自分の立場や、語学力のことなど伝えるべきで、また困ったときは、メールをするかオフィスアワー時に行けば、丁寧に相談にのってもらえます。

4. 生活等について

(1) 留学先の住居について

住居の種類	大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (11人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨) 約 40000 円 (280ポンド)
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	壁が薄い、火災警報器がうるさいなど、騒音問題が多い。

(2) 医療について

1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 150,000 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	半年以上の VISA があれば、NHS (留学生用の保険) に登録できる。診察は、緊急以外は、まずかかりつけの医者に診てもらわなければならない。	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	日本から風薬、胃腸薬、目薬など使い慣れた物を持っていくと良い。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
大学の近くや、買い物中にホームレスの人に物乞いされた。ロンドンへの旅行中に詐欺にあいかけた。(偽警官にパスポートの提示を求められる。急いで逃げたので被害に遭わずにすんだ。)		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
治安は良いが、夜暗くなってから一人で外出しないほうが良い。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 27 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 26 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4 年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	一年遅れて卒論、就職活動をする予定。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	留学前に多めに単位を取得した。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		

学習の概要についてのレポート

交換留学生はひとつの学部には制限されず、複数の学部から興味のある授業を受けることができた。しかし、広島大学のようにネット上で自分で履修登録をするのではなく、交換留学担当のスタッフの方から履修できる授業を教えてもらい、その中から選んでまたスタッフの人に連絡して、履修登録をした。どのような授業が開講されるかは 授業が始まる少し前まで分からず、また担当の方が忙しく、なかなか履修登録がうまくいかなかった。授業は一学期に4モジュール(科目) 選択することになっており、それぞれの科目が週に2、3回(一回の授業が50~90分程度)あった。私は留学生用の英語の授業と、現地の学生と受ける専門の授業を受講した。英語の授業は留学生用といっても、他の生徒はヨーロッパ系の留学生がほとんどで英語を聞く、話すことに慣れていない人がほとんどだった。他の生徒と比べて、私は特にスピーキングが得意でなく、なかなか発言できなかった。しかし、一年を通してのクラスメイトとも気軽に話せるようになり、また日本に住んでいたことのある先生が多く、気にかけてくださり、しだいに授業をたのしめるようになった。

内容は、イギリスの地域、政治、文化についての資料を読んだり、ビデオを見て、話し合いをするというものだった。学期末にはグループプレゼンテーションや短いエッセイなどを書き、成績評価をされた。語学に関しては、図書館にエッセイのチェックやスピーキングなど、相談すればなんでもサポートしてくれるスタッフがいてとても助かった。現地の学生と同じ授業では、音韻論、心理学などの授業を選択した。正規の学生はすでに専門の授業を受けている人ばかりで、そのなかに入って授業を受けたり、ディスカッションなどするのは、英語がうまく話せないのもあり、とても大変だった。授業の前にはほぼ毎回15~20ページ程度のリーディングの課題も出された。成績は1500~2000wordのエッセイで評価されることも多い。私は2年生用の授業を多く取ったが、現地のもっと基礎的な授業を取ればよかったと思う。

これらの授業とは別に週に一度、大学が提供している夜間の日本語クラスにアシスタントとして参加し、生徒さんと日本語で会話をしたり、文法や漢字を練習した。

リーズの人はヨークシャーアクセントで話すので、訛りが強く聞きとるのが難しい。そのうえ若い人は小さな声で早口で話し、授業中の話し合いのときには内容が理解できず自分だけ置いていかれるということもあった。そのほかにもインド、ヨーロッパなどからの留学生など様々な訛りがあり、聞きとるのに苦労した。留学する前に、海外のラジオ、ドラマなど英語を聞いたり、ニュースを読んだりして、英語に慣れておくことが大切だと感じた。



生活の概要についてのレポート

・寮生活について

私は大学の寮ではなく、大学の近くにある Marymorris という留学生用の寮に滞在した。（留学生は希望すれば大学の寮にも必ず入れるようになっていた。）一人部屋で、シャワー、トイレ、キッチンが共有になっていた。フラットメイトはスペイン、イギリス、インド、セルビア、ベルギー人など様々で、キッチンで話したり、料理を分けてもらったりと楽しい思い出ができた。私が授業の履修がうまく進まなかったり、落ち込んでいた時があり、会うとフラットメイトが声をかけてくれ、気が楽になった。フラットメイトのおかげであまり寂しくなることもなく、アパートではなく寮を選んでよかったと思う。一方で、生活習慣などの違いからよくトラブルが起きた。とくに、部屋の壁が薄いので騒音に関するものが多かった。スペイン人のフラットメイトが朝の5時頃に友達を連れて帰ってきて大騒ぎしたり、部屋で大音量で音楽をかけたりする人がいてストレスになった。たまに冷蔵庫にある食べ物や食器などが無くなっていたり、キッチンを使った後に片付けられない人がいたりしたので、何度かフラットメイト全員で話し合いをした。しかし話し合い後もあまり改善されず、フラットメイトとの関係がぎくしゃくしてしまう時もあった。大学の寮には、家賃は少し高くなるが、お風呂・トイレ付の個室、大学院生用のフラットなどもあるので、静かな環境で暮らしたい人はそのような寮を選んだ方がよいと思う。

・食べものについて

普段はスーパーで冷凍食品を買ったり、自炊をすることがほとんどだった。寮の近くにあるスーパーで買い物をしていて、洋食ばかりで数カ月すると飽きてしまう。リーズの街には、値段は日本の倍くらいだが、日本の調味料を売っているお店が2店と、ラーメン店、日本食のレストランもあるので、よく買い物に行った。

・交通、旅行について

寮から、バス、自転車で行ける範囲で、だいたい必要なものを買える。服や家電のお店では、学生証の提示で10～15%割引になるところがあり、安く買い物をすることができた。バスは申請すれば学割でお得な定期券を買うことができ、自転車は50ポンド（7000円くらい）で一年間レンタルできる。またタクシー代は日本のように高くないので利用しやすかった。ロンドンなど遠出をするときは、早いうちに予約すれば、正規料金の3倍くらい安く、旅費を抑える事ができる。

イギリスでは、銀行口座の開設、ケータイを買ったり、当然全てを英語でしなくてははいけない。相手の言っていることが分からない、自分の言いたいことを説明できないという環境に長い間いるのは、最初は新鮮で楽しくても、しだいにストレスになり、無気力になってしまうこともあった。日本では自分で当たり前でできることがここではうまくいかなかったりするので、人に頼ることもとても大切だと実感した。私は、寮の友達、先生、日本人の大学院生などに何度も助けてもらった。大学では、留学生用のカウンセリングなどのサービスが充実していたので、困ったときにはそういうものも利用すると良いと思う。

